



SUSTAINABILITY REPORT **2021**

サステナビリティレポート



創業100周年を迎えて



▶ サステナビリティレポートの発行

ホッカングループは、各事業分野での事業活動が環境・社会と調和する持続可能なものでなければならないことを深く認識し、 様々な社会課題の解決に向け積極的に取り組んでおります。

気候変動への対応や、新型コロナウイルスの世界的なパンデミックなど人々の生活や意識が変化する中、各事業分野において成長を続け、企業価値の向上を図るための取り組みをより分かりやすく伝えるために、「環境(E)」「社会(S)」「ガバナンス(G)」の側面での取り組みを中心に、それぞれの取り組みを紹介するサステナビリティレポートとして発行します。

次の100年へ



■ コーポレートロゴを改定

1921年に北海道小樽にて創業して以来100年、当社は事業の発展とともに関連会社も増え、今日のホッカンホールディングスグループに育ちました。そして次の100年を見据え、より一層の事業の発展とグループの団結を目指し、コーポレートマークを新しいグループマークに統一することといたしました。グループ名もホッカングループと改めます。新マークは、創業以来の変わらぬ開拓者精神を受け継ぐ形で従来のクローバーマークを踏襲し、その下にHOKKAN GROUPと標記して、グループの一員であることを明確に示します。色は創業時の赤を基調に原点を見つめ直し、明るい未来を目指す情熱の色として、新しくホッカンミネルヴァレッドを設定しました。ミネルヴァとは、知恵と技術と商いを司る女神の名前です。





サステナビリティ基本方針をはじめ、各種方針を策定

ホッカングループは2021年5月に、次の100年に向けて我々自身の使命を明確に表した「経営理念」、2030年を目途に当社グループはどのような存在になっているべきかを表した「ビジョン」等を公表しました。併せて公表した「サステナビリティ基本方針」は、経営理念およびビジョンの実現を目指すにあたり当社グループが守るべき企業としての基本姿勢、行動原則を表したものです。また同時に、サステナビリティ基本方針の下位規程として新たな環境方針、製品安全方針、労働安全衛生・健康方針およびサステナビリティ調達方針を策定し、2021年6月には人権方針を策定いたしました。

当社グループはこれらの方針に基づき、事業活動において直接的・間接的に関わる様々な社会課題の解決に向けて積極的に取り組んでまいります。

► https://www.hokkanholdings.co.jp/sustainability/

CONTENTS

創業100周年を迎えて/次の100年へ/CONTENTS······	··· 1
経営理念/ビジョン/サステナビリティ基本方針	2
ホッカングループの歩み/編集方針/ 報告書の対象範囲/表紙について	3
ブループ概要/財務ハイライト	5
せ長メッセージ	7

スペシャルインタビュー	9
バリューチェーンにおける取り組み	11
環境	12
社会	20
ガバナンス	28

経営理念

開拓者精神をもって、 成長のために飽くなき挑戦をし続け、 お客様とともに、社会から 必要とされる製品を提供していく。

ビジョン

- 1 我々は、お取引先様から、また社会から強く必要とされる存在であるため、 常に社会的責任を明確にするとともに、各事業分野において 「この点がNo.1」と言いきれる明確な特長を持った製品サービスを開発、提供します。
- **2** 我々の製品、サービスを世界中の人々へ提供できるよう、 新たな事業拠点の設立を積極的に進めてまいります。
- **3** 我々は国籍、性別、年齢に関係なく、事業に貢献する人を正当に評価する、フェアな企業集団であり続けます。

サステナビリティ基本方針

基本理念

私たちホッカングループは、各事業分野において成長を続け、中長期的な企業価値の向上を図るためには、その活動が環境・社会と調和する持続可能なものでなければならないことを深く認識し、これを実践するために、事業活動において直接的・間接的にかかわる様々な社会課題の解決に向けて積極的に取り組みます。

基本方針

- 1. 労働者の権利を含む人権を尊重し、差別・ハラスメントを許しません
- 2. 役職員の安全および健康を確保し、働きがいのある会社を目指します
- 3. 法令を遵守し、公正取引・腐敗防止、反社会的勢力の排除に取り組みます
- 4. 持続可能な地球環境の実現に向けて取り組みます
- 5 顧客満足度の高い製品・サービスを開発し、製品安全および品質の確保に努めます
- 6. 情報資産の管理・活用を徹底し、適正な開示を行います
- 7 地域社会と調和し、社会の幸福に資する活動に取り組みます
- 8. ステークホルダーと真摯に対話し、活動状況を監督します

ホッカングループの歩み

売上高 事業拡大 創業~事業基盤づくり 海外展開 150,000 「充填事業」開始 純粋持株会社へ移行 「容器事業」開始 1950 1960 1973 1985 1988 2011 (株)西日本 日東製器(株)設立 (株)日本 (株)ワーク・サービス 北海製罐(株) PT.ホッカン・ ※2021年7月1日付で キャンパック設立 キャンパック 設立 2014 北海製罐(株)と合併 インドネシア社 設立 ※2021年7月1日付で(株)日本キャンパックと合併し同社岐阜工場 設立 工場構内 エアゾール缶 設立 運搬作業請負 ※現ホッカンホール 飲料の受託充填 くじらい乳業(株) (5ページ②) 2005 食品缶 美術缶 飲料の受託充填 100,000 に資本参加 会社分割により 乳製品の受託製造 1950 1921 1961 北海製罐(株)設立、 「機械製作事業 | 開始 当社はホッカン 昭和製器(株)設立 ホールディングス(株) 東都成型(株)に 小樽市に 2013 2020 に商号変更 資本参加 北海製罐倉庫(株) 飲料缶 1974 (株)コスメサイエンス (株) 真喜食品 創立 プラスチック容器 180缶 美術缶 オーエスマシナリー 株式取得 株式取得 2007 (株)設立 食品の受託製造 化粧品等の受託製造 ※設立時商号小樽製作所(株) 50,000 食品•飲料用容器製造機 日本キャンパック・ 1950~1951 産業機械 ベトナム社設立 2012 2018 (5ページ①) 東京証券取引所・ PT.ホッカン・ KE•OSマシナリー 札幌証券取引所に デルタパック・ (株)設立 株式上場 インダストリ社 設立 (5ページ③) ※2000年度より連結決算となります。 1960 1965 1980 1985 2005 2015

編集方針

本報告書では、当社グループに関わるすべてのステークホルダーの皆様に対し、当社のサステナビリティの考え方およびグループとしての取り組みについて、その全体像を広くご理解いただくことを目指し、当社グループがそれぞれの事業活動を通じて社会に対して果たしている役割等につきご報告しています。

なお、当社ウェブサイトにてサステナビリティに関する3事業年度分の数値データを開示しています。

► https://www.hokkanholdings.co.jp/sustainability/

報告書の対象範囲

対象組織

△北海製罐株式会社

本社(東京都)、中央研究所(埼玉県)、岩槻工場(埼玉県)、千代田工場(群馬県)、小樽工場(北海道)、明和工場(群馬県)、滋賀事業所(滋賀県)、館林事業所(群馬県)、関西営業所(大阪府)

●株式会社日本キャンパック

本社(東京都)、群馬センタービル(群馬県)、群馬第1工場(群馬県) 群馬第2工場(群馬県)、利根川工場(群馬県)、赤城工場(群馬県)、 岐阜工場(岐阜県)

●オーエスマシナリー株式会社

本社(群馬県)、小樽工場(北海道)、群馬工場(群馬県)

対象期間 データ:2020年4月1日~2021年3月31日 活動内容:2021年8月までを対象

発行日 2021年10月

表紙について

『朝の運河』 絵・文 藤倉英幸氏



北海製罐の工場・倉庫をシルエットにして 小樽運河に新しい朝が訪れる。やがてカモメが飛び立つ。

陽が昇るにつれて人の気配が濃くなって、

あたりは小樽らしいざわめきに包まれる。



【略歴】

1948年、北海道後志管内岩内町生まれ。1974年にイラストレーターとして独立し、ポスター、パッケージ、装丁など商業デザインを幅広く手がける。1980年代後半からは「はり絵」による風景画を本格的に描きはじめ、自身のライフワークとする。その作品は、JR北海道車内誌「The JR Hokkaido」表紙画、菓子や牛乳パッケージなどで広く親しまれている。「静かな風を聴きながら」(2013年、共同文化社)など画集多数。2017年にはり絵原画やポスターなどの印刷物約1万点をニセコ・有島記念館に寄贈。夏と冬に同館で定期展覧会を開催。

日本から世界へ

ものづくりの「総合力」を活かし、 新たなステージを目指す

ホッカングループの事業領域

充填事業

株式会社日本キャンパック

缶飲料 PETボトル飲料

などの受託充填

容器事業

北海製罐株式会社

飲料缶 食品缶 エアゾール缶

美術缶 PETボトル

プラスチック容器

などの製造

機械製作事業

オーエスマシナリー株式会社

食品•飲料用容器製造機

金型 産業機械

などの開発・製造

純粋持株会社 ホッカンホールディングス 株式会社

海外事業

①日本キャンパック・ベトナム社



人口の増加や社会経済の発展から清涼飲 料市場として有望視されているベトナムに おいて、株式会社日本キャンパックが蓄積 した事業運営ノウハウと品質保証、製品開 発力を活かし、清涼飲料の受託充填事業を おこなっています。

②PT.ホッカン・インドネシア社



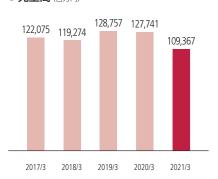
今後も旺盛な飲料消費が見込まれている の高度な容器製造能力と株式会社日本キャ ンパックの品質保証、製品開発力を活かし、 ペットボトル容器の製造から内容物の充填 までを一貫しておこなっています。

③PT.ホッカン・デルタパック・インダストリ社



東南アジア最大の人□を誇るインドネシア インドネシアにおいて、北海製罐株式会社 において、現地の有力な飲料用パッケージ製 造業者であるPT. DELTAPACK INDUSTRI 社との合弁により、清涼飲料用パッケージ(飲 料用カップやペットボトル等)を製造してい ます。

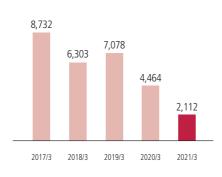
売上高 (百万円)



● 営業利益 (百万円)



経常利益(百万円)



※記載金額は単位未満の端数を切り捨て、比率は単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

ホッカンホールディングス株式会社

代 表 者 | 代表取締役社長 池田孝資 資 本 金 | 110億86百万円

立 1921年10月23日 上場証券取引所 東京証券取引所、札幌証券取引所 立 1950年2月1日 所 在 地 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号

北海製罐株式会社

最先端をいく容器のトータルカンパニー

北海製罐株式会社は、食品用缶や飲料用缶といった金属容器とPETボトルなどのプラスチック容器を中心に、様々な容器の開発から販売 までをおこなう会社です。独自の技術と研究開発力によって、次々と新製品を市場に投入。時代のニーズを捉えた先進的な製品でお客様の期 待にお応えしています。

従業員数 384名(2021年3月末時点)

本社(東京都)、中央研究所(埼玉県)、岩槻工場(埼玉県)、千代田工場(群馬県)、小樽工場(北海道)、明和工場(群馬県)、

滋賀事業所(滋賀県)、館林事業所(群馬県)、関西営業所(大阪府)

品質マネジメント規格 ISO9001 ▶本社を含む全事業所

環境マネジメント規格 ISO14001 ▶本社を含む全事業所

食品安全マネジメント規格 FSSC22000 ▶岩槻工場、館林事業所、千代田工場、滋賀事業所、小樽工場

株式会社日本キャンパック

ヒット飲料を支えるリーディングカンパニー

株式会社日本キャンパックは、缶飲料やPETボトル飲料の充填事業を核とした、飲料の受託生産をおこなう会社です。高品質かつ高速の大 ロット生産はもちろん、特殊形状の容器や小ロット生産にまで対応できる設備が整っています。特に、毎分1,200本という世界トップクラス の無菌充填が可能であるPETボトル飲料の生産ラインでは、受託充填企業として日本一の生産数を誇っており、缶飲料についても毎分1.500 本の缶飲料を安定して生産することが可能です。

従 業 員 数 │ 515名(2021年3月末時点)

事 業 所 本社(東京都)、群馬センタービル(群馬県)、群馬第1工場(群馬県)、群馬第2工場(群馬県)、利根川工場(群馬県)、

赤城工場(群馬県)、岐阜工場(岐阜県)

品質マネジメント規格 ISO9001 ▶赤城工場、利根川工場、岐阜工場 マネジメント

食品安全マネジメント規格 FSSC22000 ▶利根川工場、赤城工場、群馬第1工場、群馬第2工場、岐阜工場

認 証 取 得 情報セキュリティマネジメントシステム規格 ISO27001 ▶情報システム部

オーエスマシナリー株式会社

技術力という信頼を持つ総合機械カンパニー

オーエスマシナリー株式会社は、飲料容器関連の機械を中心に、幅広い分野の産業機械を手掛ける総合機械メーカーです。超高速かつ超精 密度で生産できる容器製造機やミクロン精度の缶工具、精密金型など、新発想の缶やPETボトルを生み出すために不可欠な機具を設計し、製 作。そして、製作した機械の設置や運転後のアフターフォローまで、一貫したサービスでお客様のご要望に応えられる体制を整えています。

従 業 員 数 │ 85名(2021年3月末時点)

事 業 所 本社(群馬県)、小樽工場(北海道)、群馬工場(群馬県)

1,968

2021/3

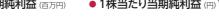
1 150

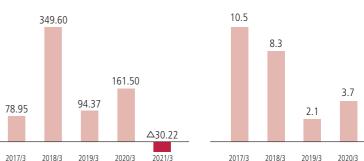
2017/3 2018/3 2019/3 2020/3

品質マネジメント規格 ISO9001 ▶小樽工場、群馬工場 環境マネジメント規格 ISO14001 ▶小樽工場 システムの

認証取得

親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)1株当たり当期純利益(円)[※]





 $\triangle 0.7$ 2017/3 2018/3 2019/3 2020/3 2021/3

● 自己資本当期純利益率 (%)

※当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合をおこなっております。2018年3月期の期首に当該株式併合がおこなわれたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

社長メッセージ

共通価値の創造|

企業の社会的責任

CSVとCSRの両立を前提として

ビジネス改革に挑戦し、

社会の諸問題の解決と

持続可能な発展に貢献します。

ホッカングループは、容器・充填・機械製作といった事業活動において 直接的・間接的に関わる社会課題の解決に向けて、積極的に取り組んでおります。

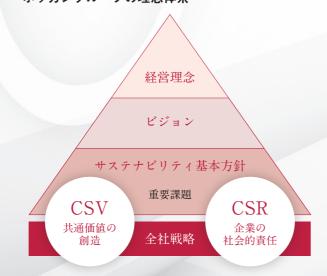
本報告書の発行にあたり、サステナビリティに対する基本的な考え方を述べさせていただきます。

企業の社会的責任と事業活動の 根本思想=サステナビリティ

ホッカングループは、「サステナビリティ(持続可能性)」を企業としての社会的責任と事業活動の両輪を支える根本的な思想と位置づけています。2021年10月23日に創立100周年を迎えるにあたり、時代の変化に適応するため、本年5月に「経営理念」「ビジョン」「全社戦略」、さらに「サステナビリティ基本方針」を策定しました。これらのベースにあるのは、企業が地域や社会、地球規模であらゆるステークホルダーの方々と中長期的に友好的な関係性を強めてビジネスを展開させ、様々な社会的課題を解決することにより企業を持続的に成長・発展させていくという考えです。サステナビリティにつきましては、先の基本方針の下、当面は環境対応や有益な製品開発、地域社会との調和を重点課題として活動に取り組んでまいります。

今後は、本業において従来取り組んできた、環境に配慮 した事業計画や製品開発を必須としつつ、CSV(Creating Shared Value:共通価値の創造)とCSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の両立を前提としながら、新たなビジネスを改革につなげていくといった思考にスイッチする必要があります。守るべき聖域を設けず、スピード感をもって各事業や製品を変化させてまいります。

ホッカングループの理念体系





「改訂CGコード」の運用を ガバナンス課題解決の好機に

2021年6月、東京証券取引所が企業を取り巻く社会環境の変化を受けて「改訂コーポレートガバナンス(CG)コード」を公表し、すでに運用が始まっています。とりわけサステナビリティにつきましても、主体的な取り組みを促すとともに、内容も具体的で踏み込んだものになっております。改めて、サステナビリティの取り組みの検討を速やかに深める必要性を感じております。

当社グループでは、「お客様とともに、社会から必要とされる製品を提供していく」ことを経営理念に掲げておりますが、この使命を果たすためには改訂CGコードで示された諸問題をすべて解決することが求められます。一部はすでに取り組みを始めているものの、中には速やかに実現することが難しい問題もあります。そのため、一定の準備を要するものについては別途チーム編成をおこない、それぞれの方針やKPI(重要業績評価指標)、目標を明確にした上で、最終的な課題解決に向けて取り組みを進めてまいります。ガバナンスに関しては、これまで変革の必要を感じながら、脱却できずにいた課題もありました。今回の改訂CGコードの運用をチャンスとして捉え、グループとして様々な課題に取り組みたいと考えております。

グループ全体の専門部署として 「サステナビリティ推進部」を新設

当社グループではこれまで各事業会社に環境担当や CSR担当を置き、それぞれの分野において戦略的な社会 貢献を実践してまいりました。しかしながら、改訂CG コードに基づくガバナンスの運用や2022年4月から始ま る東証プライム市場を我々が目指す中で、対応するべきサステナビリティの課題が広がり、深くなっております。このためグループ全体として様々な問題の解決に取り組む専門部署として、2021年6月に「サステナビリティ推進部」を新たに設け、活動を始めております。地球環境を考慮した新素材の研究や製造技術の確立、製品開発など、具体的なテーマを見い出すためには、重要な社会課題の解決やグループの存在意義の実現に向けて何を目指し、どのような目的を設定するかを明確にした上で進める必要があります。そのため、まずは重要課題を審議する取締役会やサステナビリティ委員会に参加するメンバーから意識改革を進めて、その後に順次役職員などへの研修を通じて各方針の運用や浸透を図ってまいります。

環境や社会と調和する事業を通じて 様々な社会問題の解決に貢献

各事業分野において成長を続け、中長期的な企業価値の向上を図るためには、その活動が環境や社会と調和する持続可能なものでなければなりません。そのため、当社グループは様々な社会的な課題の解決に向けて、これまで以上に積極的に取り組んでまいります。また昨今、企業に対して地球規模での気候変動、資源の枯渇あるいは人権問題といった事業活動に直接的・間接的に関わる社会課題の解決への取り組みがニーズとして高まっています。このような認識を踏まえ、ホッカングループならではの価値を創造し、社会課題の解決に事業を通じて貢献していきたいと考えております。ステークホルダーの皆様におかれましては、変わらぬご指導・ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 池田孝資

スペシャルインタビュー

社会課題の解決に向けた飽くなき挑戦と 社会から必要とされる製品を提供、 そして企業の成長を目指して

2021年6月に新設した「サステナビリティ推進部」について、 サステナビリティ推進部担当 兼 サステナビリティ推進部長の 宇田川常務執行役員に伺いました。

ホッカングループにおける サステナビリティ推進部の役割を教えて**く**ださい

社会的重要課題について、サステナビリティ委員会を通じ活動計画の策定と検証、ステークホルダーへの情報開示内容を審議し取締役会へ報告・提言をおこないます。

サステナビリティ経営に必要な持続可能な事業基盤を構築 することで事業発展・企業価値の向上に貢献してまいります。

ホッカングループの経営において、サステナビリティ の重要性をどのように感じていますか? 事業における機会とリスクの両面で教えてください

20ヵ国・地域 (G20) 財務大臣・中央銀行総裁会議の要請を受け、金融安定理事会 (FSB) が気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) を設置しました。

TCFDは世界共通の比較可能な気候関連情報開示の枠組みであり、気候変動問題を経営課題と捉えていることが大きな特徴です。昨今投資家等は、気候変動に伴うリスクと機会が財務状況にどのような影響を及ぼすか的確に把握することが投資判断につながると考えています。

ホッカングループもTCFDが提言する4つの情報開示項目 「ガバナンス」「リスク管理」「戦略」「指標と目標」を重要と 考えます。

TCFDは気候変動対策が進んだ場合と進まなかった場合のいずれの将来にも対応できるようにリスクと機会を評価できることを求めています。

これからの検討課題ですが、TCFD要求によるホッカングループのリスクと機会を右記にまとめました。

サステナビリティ委員会の経営における役割や 想定される議論のテーマを教えてください

サステナビリティ委員会は、コンプライアンス委員会・リス

●TCFD要求によるホッカングループのリスクと機会

リスク・機会の種類		種類	ホッカングループのリスクと機会	事業 および 財務影響
リスク	移行 リスク	政策規制	●炭素税等温室効果ガス排出を抑制する政策が導入されオペレーションコスト増加 ●温室効果ガス排出の情報義務化と対策不備による罰金	特大
		市場	●環境課題に対する消費者意識変化、低 炭素製品の市場展開遅れによる売上 減少 ●気候変動に起因する感染症対応の遅 れによる機会損失	t
	物理 リスク	急性	●気候変動に起因する自然災害による 調達、出荷配送断絶での販売機会損失 ●自然災害でのサプライヤー、顧客被害 での操業遅延 ●気候変動に起因する感染症増加によ る販売機会損失	t
エネルギー派		デー源	●低炭素エネルギー使用によるコスト 削減 ●低炭素製品ビジネスによるコスト削減 ●省資源推進によるコスト削減	t
	市場		●環境課題に対する消費者意識変化、低 炭素製品の市場参入による収益増加 ●気候変動起因の感染症に対する新た な対応による成長機会拡大	特大

●体制図



ク管理委員会と並ぶ、取締役会の諮問委員会と位置づけ、毎年2回定期に開催し、サステナビリティに関わる重要課題についての審議や目標とすべき指標等の設定、サステナビリティ活動計画の策定と検証、ステークホルダーへの情報開示内容などについて審議し、必要な情報の抽出やモニタリングを実践して、取締役会へ報告・提言をおこなう役割となっています。

具体的な活動の中で、特に重要視しているものがあれば、理由と合わせて教えてください

サステナビリティ活動は8つの基本方針に則り、各課題への取り組みをおこなっております。特に環境対応や有益な製品開発、地域社会との調和についての取り組みを強化していきます。

持続可能な地球環境の実現に向けた気候変動問題への対応は、世界的なイニシアティブへの対応と「2050年カーボンニュートラル」を目指してGHG排出量の削減に努めていきます。

さらに、地球環境にやさしい容器や充填サービスの開発を おこない、顧客満足度が高く社会から必要とされる製品の提 供を目指します。

また、ステークホルダーとの真摯な対話と地域とのコミュニケーションを積極的におこない、地域社会と調和し、地域住民をはじめ社会の幸福に資する活動への取り組みを通じて、社会から信頼される企業を目指していきます。



サステナビリティ経営の社内浸透策で想定している 具体的なアクションを教えてください また社内浸透における課題があれば教えてください

役職員一人ひとりがサステナビリティ活動を推進し、サス テナビリティの意識向上と事業を通じた社会課題の解決につ いての理解・共感を得ることが重要であると考えています。

まずは、取締役会とサステナビリティ委員会へ参加するメンバーから意識改革を進め、今後は研修会のカリキュラムの中にサステナビリティの内容を取り入れて各方針の浸透や運用を進めていきます。

サステナビリティ浸透のための社内イントラネット活用を検討課題として、社内外のサステナビリティ情報をタイムリーに伝えるツールとして活用していきます。そこには、サステナビリティに関する基本的な情報や事業を通じた社会課題の解決に貢献するための考え方やヒントを掲載していきます。

最後に、サステナビリティ担当役員として、ステーク ホルダーの皆様にメッセージをお願いします

2021年7月、PT.HOKKAN INDONESIAから帰任しました。インドネシア経済も直近の1年は新型コロナウイルスでパンデミックとなり大規模な社会制限が断続的に実行される状態でした。大規模な社会制限が強化された時期は私たちの工場も生産待機となり事業が成り立ちませんでした。この間、コロナ感染対策、BCPの検討、設備メンテナンスなどをおこなったのですが、事業のピンチをチャンスにするための施策を検討しました。そこで開発部門でオリジナルのビタミンドリンクを試作し非売品として製造することにしました。軽量ボトルのラインテストを兼ね客先への商品提案になると考えました。また、従業員、近隣住民、医療従事者、警察、大使館などに配布することで福利厚生・社会貢献にもなると考えました。初回10万本の製造を実施し配布した結果、従業員・顧客・サプライヤーに大変喜んでもらい、商品引き合いがありビジネスチャンスにつながりました。

インドネシアでは、事業の継続とコロナ禍で閉塞感が漂う サプライチェーンを活気づける手段としてこのようなことを 検討しましたが、日本に戻って感じることは地球や社会の持 続可能性を考えることがより必要とされていることでした。 とりわけ地球環境の問題は待ったなしのところまで来ている と感じています。この問題と向き合う企業でなければ将来事 業が成り立たないという危機感を持ちました。

ホッカングループの新たな経営理念でもある社会課題の解決に向けた飽くなき挑戦をし続け、社会から必要とされる製品を提供し企業成長するということは、一過性のものでもなく容易いものでもありません。具体的な取り組みについては、お客様、従業員、サプライヤーなどすべてのステークホルダーの方々と柔軟に社会環境の変化とともに考えていかなければなりません。企業価値を向上させるため、これから勉強してまいりますのでステークホルダーの皆様どうぞよろしくお願いいたします。

常務執行役員

サステナビリティ推進部担当 兼 サステナビリティ推進部長

宇田川 誠

バリューチェーンにおける取り組み

「環境」

「社会」

調達

サステナビリティ調達活動 (サステナビリティに係る 取引先評価・アンケート)

19ページ

自由競争、公正取引 紛争鉱物調査

サステナビリティ調達活動

(サステナビリティに係る 取引先評価・アンケート) 19ページ

開発

PETボトルの軽量化(省資源)

(19ページ)

再生レジンの採用

(リサイクル材100%使用のPETボトル)

19ページ

生分解性プラスチック原料の利用 リサイクルの容易な製品の開発

(PET素材の二重構造バリアボトル)

製造

太陽光/バイオガス発電 15ページ

コージェネレーションシステム

16ページ

茶粕・コーヒー粕の有効利用

(省エネルギー/CO2削減) (18ページ)

工場環境関係法令対応 (大気、水質、騒音等)

廃棄物のリサイクル

(17ページ)

製品安全方針 26ページ

フードディフェンスの取り組み 26ページ

> 労働安全衛生の取り組み 24ページ

3R推進啓発活動

(19ページ)

製品倉庫の集約化 包装材の軽量化の取り組み

(省エネルギー/CO2削減) 環境保全活動への参加

> (美化キャンペーン) 19ページ

((株)アールプラスジャパンへの資本参加) 19ページ

使用済みプラスチックの再資源化

出荷・ 回収



環境方針

私たちホッカングループは、容器・充填・機械メーカーとして「かけがえのない地球」より恵みを受けて企業活動をおこなってい ることを深く認識し、地球環境の持続という社会的課題の解決に向けて積極的に取り組みます。



今後注力すべき環境課題

1 脱炭素社会への貢献

- GHG (GreenHouse Gas:温室効果ガス) 排出量の削減、エネルギー使用量の削減
- 再生可能エネルギーの活用、コージェネレーションシステムの活用

2 水資源の持続可能な利用

3 資源循環社会への貢献

● 廃棄物処理とリサイクル、茶粕・コーヒー粕の有効利用

主な取り組み ●容器の軽量化、リサイクルPETレジンの使用

● リサイクルの容易な製品の開発

サプライチェーン排出量 (t-CO2)

スコープ/カテゴリ			2019年度
			国内3社計*1
	スコープ1	直接排出	132,252
スコープ1,2	スコープ2	間接排出	77,659
	スコープ1,2合計		209,911
	カテゴリ1	購入した製品・サービス	305,207
	カテゴリ2	資本財	15,013
	カテゴリ3	Scope1,2の上流	42,414
	カテゴリ4	輸送、配送(上流)	11,205
	カテゴリ5	事業から出る廃棄物	4,511
	カテゴリ6	出張	193
	カテゴリフ	雇用者の通勤	576
-	カテゴリ8	リース資産(上流)	_
スコープ3	カテゴリ9*5	輸送、配送(下流)	_
	カテゴリ10	販売した製品の加工	50,510
	カテゴリ11	販売した製品の使用	_
	カテゴリ12	販売した製品の廃棄	30,562
	カテゴリ13	リース資産(下流)	_
	カテゴリ14	フランチャイズ	<u> </u>
	カテゴリ15	投資	_
スコープ3合計			460,191
サプライチェーン排出量合計			670,102

^{※1} 国内3社:北海製罐(株)、(株)日本キャンパック、(株)西日本キャンパック



ホッカングループは気候変動問題への対応に積極的に取り組みます。

~2050年までに「カーボンニュートラル |を目指します~

当社グループでは気候変動問題への対応に積極的に取り 組み、GHG排出量の「カーボンニュートラル」を目指すため の2030年目標を掲げて推進してまいります。

GHG排出量削減 2030年目標(2019年度比)

スコープ1+2 GHG排出量 30%削減*6 GHG排出量 20%削減*7 スコープ3

- ※6 2020年度 国内の排出量90%以上を占める国内2社(北海製罐(株)、(株)日本キャ ンパック)を対象((株)日本キャンパックに(株)西日本キャンパックを含む)
- ※7 2020年度 国内の排出量90%以上を占める国内3社(北海製罐(株)、(株)日本キャ ンパック、オーエスマシナリー(株))を対象((株)オーエスマシナリーにKE·OSマ シナリー(株)を含む)

気候変動問題に対応するためには、自社のみならずバ リューチェーン全体でのGHG排出量を削減する必要があ ります。そのため当社グループは、バリューチェーン全体の GHG排出量(スコープ3)の算定を開始しました。

2019年度にまずは事業規模の大きな3社の排出量を算 定し、2020年度は海外子会社を含む当社グループ11社で 算定しました。

生産の効率化や省エネといった製造時におけるGHG排 出量削減の取り組みに加え、製品の軽量化や原材料の選定 による排出量削減にも積極的に取り組んでいきます。

14

 国内3社計 ^{※1}	 国内8社計 ^{※2}	 海外3社計 ^{※3}	対象会社11社計*4	
114,672	116,137	1,596	117,733	
69,010	77,669	58,198	135,867	
183,682	193,806	59,794	253,600	
278,553	307,685	84,748	392,433	
7,921	8,414	1,332	9,746	
37,250	38,863	5,012	43,875	
8,737	10,272	6,661	16,933	
2,773	2,823	155	2,978	
207	270	205	475	
591	820	746	1,566	
_	_	_		
_	_	_		
43,291	45,333	95,721	141,054	
_	46,275	-	46,275	
23,699	39,115	80,789	119,904	
_	-	-		
_	-	-		
_	-	-		
403,022	499,870	275,369	775,239	
586,704	693,676	335,163	1,028,839	

製品ではなくサービス (充填・受託加工) であることから算定対象外とした。

2010 / 中中

^{**2} 国内8社:北海製罐(株)、(株) 日本キャンパック、(株) 西日本キャンパック、オーエスマシナリー(株)、 $K \in OS$ マシナリー(株)、東都成型(株)、(株) コスメサイエンス、くじらい乳業(株)

^{※3} 海外3社: PT. ホッカン・デルタパック・インダストリ、日本キャンパック・ベトナム、PT.ホッカン・インドネシア

^{※4} 対象会社11社:※2および※3の各社

^{※5} カテゴリ9: (株) 日本キャンパック、(株) 西日本キャンパック、(株) コスメサイエンス、くじらい乳業(株)、日本キャンパック・ベトナム、PT.ホッカン・インドネシアは販売しているものが

4

エネルギー使用量

再生可能エネルギーの活用や使用電力の見える化などを通じて、

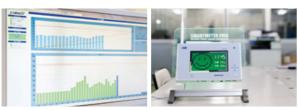
省エネルギーを推進しています。

北海製罐株式会社では、消費電力の見える化を通じた省エネルギー意識の浸透や、生産効率の改善などを通じて、エネルギー使用量の減少に努めています。また、コロナ禍の影響やお客様のニーズが缶飲料から製造工程におけるエネルギー使用量が少ないPETボトルに流れたことなども影響し、2020年度のエネルギー使用量は、前年度から約12%減少しました。

株式会社日本キャンパックにおいてはコージェネレーションシステムの稼働のほか、コロナ禍における生産量の減少により、2020年度のエネルギー使用量は前年度から約

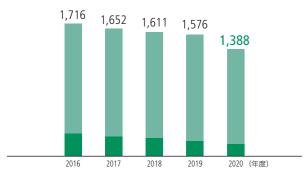
10%減少しました。

オーエスマシナリー株式会社の2020年度のエネルギー 使用量は15千GJで、前年度から横ばいで推移しました。



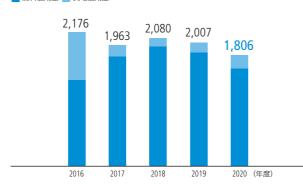
一部事業所で独自に消費電力の見える化を実施。 左:北海製罐(株)中央研究所 右:オーエスマシナリー(株)小樽工場

エネルギー使用量の推移 ● 北海製罐(株) (+GJ) ■ 燃料使用量 ■ 質電使用量



※記載数値および比率は、単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

エネルギー使用量の推移 ● (株)日本キャンパック (〒GJ) ■ 燃料使用量 ■ 質電使用量



45

太陽光発電

ホッカングループでは、事業活動に伴う環境負荷低減を目指し、

太陽光発電設備の導入等、自然エネルギーの使用を推進することで、

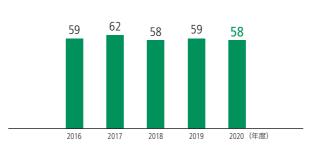
地球環境や地域社会の持続的な発展に貢献しています。

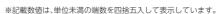
北海製罐株式会社では、中央研究所屋上に太陽光パネルを設置しています。発電電力は、主に中央研究所で自家消費していますが、余剰が発生した場合は、その電力を売却しています。2020年度の中央研究所の発電量は58千kWhで、前年度と比較してほぼ横ばいでした。

株式会社日本キャンパックでは、物流倉庫の屋根に発電

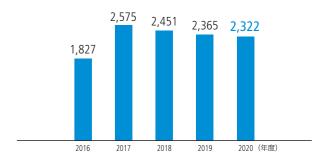
出力290kWの太陽光パネルを2014年10月と2015年5月に設置しました(合計580kW)。さらに、2016年7月、利根川工場では敷地内に発電出力600kW、屋根に1,000kWの太陽光パネルを設置しました。また、バイオガス発電設備での発電(2020年度発電量:940千kWh)もおこなっております。

発電量(太陽光)の推移 • 北海製罐(株) (千kWh)





発電量(太陽光)の推移 • (株)日本キャンパック (千kWh)

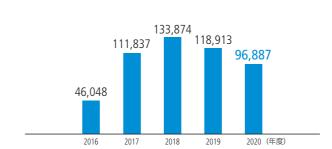


エネルギー効率の向上

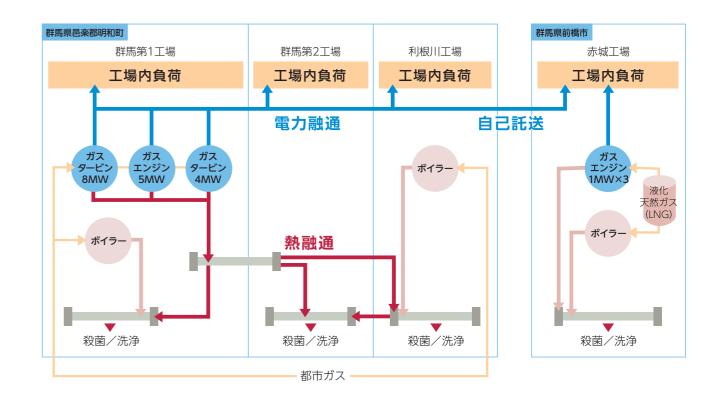
コージェネレーションシステム

株式会社日本キャンパックのコージェネレーションシステムは社会的にも評価をいただき、一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センターが主催する[コージェネ大賞2017]で、産業用部門の最高賞である理事長賞を受賞しました。

コージェネレーションシステムにおける発電量の推移 (株)日本キャンパック (手kWh)









水使用量

ホッカングループでは水は限りある大切な資源と位置づけており、

製造工程での水使用量をできるだけ抑えながら

安心安全な製品を提供していくことを、大きなテーマと捉えています。

北海製罐株式会社の2020年度の水使用量は工業用水と上水道の合計で、256千 t となりました。水は、主に冷却水として使用しており、製造数量の減少により、前年度から約7%の減少となりました。

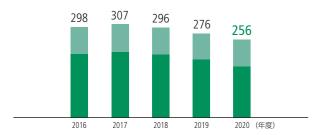
株式会社日本キャンパックでは、充填する清涼飲料水のほか、製品の加熱・冷却やタンク・配管等の洗浄に多くの水を使用しています。2020年度の水使用量は8,219千 t で、

前年度から約7%減少しました。全体の使用量の中では井戸水の割合が多くなっていますが、冷却水等には工業用水を使用し、井戸水の過剰な汲み上げを極力抑えるように努めています。

また、群馬県にある各工場では活性汚泥を用いた排水処理で、河川の生態系などに影響のない状態まで処理し、放流しています。

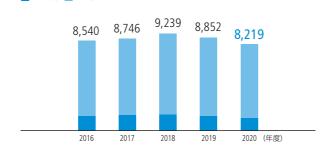
水使用量の推移 ● 北海製罐(株) (乗 t)





※記載数値は、単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

水使用量の推移 ● (株)日本キャンパック (升 t) ■ T業用水 ■ 井戸水



5

産業廃棄物の処理とリサイクル

ホッカングループでは事業の特性上、プラスチック素材を多量に取り扱っています。

限りある資源を有効に活用するために、グループ全体でリサイクルなどを推進しています。

廃棄物は製造工程から出るスクラップ等も含めすべての 副産物・廃棄物を対象としています。工場では適正な分別を おこない、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)するこ とで、産業廃棄物の削減に努めています。

北海製罐株式会社の産業廃棄物の9割以上は金属くずと廃プラスチック類であり、リサイクル率は99.1%と高い水準で推移しています。

株式会社日本キャンパックでは、茶粕やコーヒー粕、また包材関連のプラスチック・段ボール、飲料容器等の廃材が発生します。 中でも茶粕、コーヒー粕は全廃棄物量の約8割を占め、

有効利用のために様々なルート・用途でのリサイクルを実施しています。2020年度には高効率な乾燥機を導入し、茶粕・コーヒー粕を乾燥させてバイオマスプラスチックの原料等として売却する取り組みを開始しました。産業廃棄物としての処分委託ゼロ化と化石燃料の削減への貢献を目指しています。

オーエスマシナリー株式会社で発生する産業廃棄物は、 廃プラスチック、金属くず(切粉)、缶、PETボトル、コピー用 紙などの紙類、水銀使用製品(電池、蛍光管)などで、廃棄機 械も有価物としてすべてリサイクルしています。2020年 度産業廃棄物発生量は30 t です。

産業廃棄物量とリサイクル率の推移 ● 北海製罐(株)

産業廃棄物量(千t) ◆ リサイクル率(%)



※記載数値は、単位未満の端数を四捨五入して表示しています。

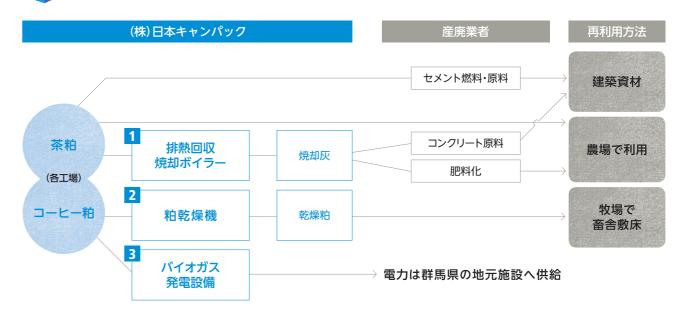
産業廃棄物量とリサイクル率の推移 ● (株)日本キャンパック

産業廃棄物量(千 t) ◆ リサイクル率(%)



廃棄物削減と再生エネルギー活用を両立

茶粕・コーヒー粕の有効利用





1 粕焼却ボイラーで農業利用

群馬第1工場には、茶粕・コーヒー粕・廃水処理汚泥を「燃料」として再利用する焼却ボイラーを設置しています。ボイラーで焼却した茶粕・コーヒー粕は肥料や建築用原料として利用されています。なお、ボイラーは廃棄物の減量だけでなく、工場内の省エネルギーにも役立てています。



2 粕乾燥機で 牧場畜舎の敷床利用

利根川工場の敷地内には、含水率70~90%の茶粕・コーヒー粕を含水率10%以下まで乾燥させるロータリーキルン式の乾燥機が設置されています。この装置で乾燥した茶粕・コーヒー粕は牧場の牛舎・豚舎の敷床として再利用されており、専門業者に売却しています。廃棄物のリュースだけでなく、費用削減にも効果を発揮しています。



3 バイオガス発電設備で 地域へ電力供給

利根川工場にあるバイオガス発電設備は、茶粕・コーヒー粕に加え、工場内の廃水処理設備から排出される汚泥を発酵処理し、生成されたバイオガス(メタンガス)で発電をおこなうエネルギープラントです。発電した電力のすべてが、電力供給会社を通じて群馬県の地元施設に供給されています。



PRTR法対象化学物質について

人の健康や生態系に害を及ぼす可能性のある

PRTR法対象化学物質の管理・削減を進めています。

北海製罐株式会社では缶やPETボトルのラベルの塗装・ 印刷工程でPRTR法対象化学物質が発生します。排出物は 法規制に則り、適切な処理を徹底しています。2020年度の 取扱量は232 t で、前年度から約27%減少しました。また、 2020年度の排出・移動量合計(大気への排出量+水域への 排出量+廃棄物の移動量)は69 t で、前年度から8%減少 しました。



内訳(t)



取扱量(t) 232









環境保全に向けた取り組み

北海製罐株式会社では、スチール缶、PETボトルな どの容器を取り扱っており、これらが地球環境に与 える負荷をできる限り低減するよう、様々な観点か ら取り組みをおこなっています。

開発面では、PETボトルの軽量化による省資源の取 り組みに加えて、再生レジンを使用するリサイクル PETや植物由来のプラスチックを利用したカーボン ニュートラルなバイオベースPETなど、環境対応材料 を使用したホットパック用PETボトルの開発を進め、 2014年の上市以降多数の実績を上げています。 2019年度には、業界初となるリサイクル材を100% 使用したホットパック用PETボトルを上市し、2020 年度にはPET樹脂総使用量の約9%が環境対応材料 となりました。(2019年度は約6%)

また、使用済みプラスチックの再資源化事業に取 り組む新会社「株式会社アールプラスジャパン」に出 資し、持続可能な社会の実現に向けた環境負荷が少 ない効率的なリサイクル技術の確立に貢献してまい ります。

原材料の調達にあたっては、2021年5月に策定さ

れたサステナビリティ調達方針に基づき、原料資材 および包装副資材を購入している取引先へのアン ケート調査によるサステナビリティに関する情報の 収集とその評価、フィードバックを開始しました。取 引先とのパートナーシップの下、環境や労働環境、人 権まで含めたサプライチェーン全体でのサステナビ リティ活動を推進していきます。

環境保全活動としては、製造販売する各種容器類 の業界リサイクル推進団体に加盟し、3R推進の啓発 活動や美化キャンペーンへの参加など、各団体がお こなう種々の活動に積極的に参画しています。また、 自主企画としては、創業の地小樽において使用済み 容器包装のポイ捨て防止および3R推進をコンセプ トとした啓発活動「CAN-ARTフェスティバル」を開 催し、使用済み容器包装を用いた作品の展示やゲー ムやクイズなど出展企業・団体の企画展示をおこ なっています。新型コロナウイルスの感染拡大に伴 い、2020年度以降は実施を見合わせている状況です が、今後とも機会を捉えて活動に取り組んでまいり ます。

社会

Social

人権方針/ダイバーシティの推進/	
内部通報窓口に女性弁護士を登用	 21
ワーク・ライフ・バランスの推進	 22
福利厚生	 23
労働安全衛生・健康方針/安全管理	 24
衛生管理/健康経営	 25
食の安全に向けた取り組み	 26
地域社会との連携	 27

安全のために

清涼飲料水を中心に、人々の食生活に関連する事業 を展開している当社グループにとって、安全な製品 を提供することは社会的にも大きな使命です。衛生 管理はもちろん、製造機器の保安・点検管理も徹底 しています。

従業員のために

労働者人口の減少が始まる中、人材確保や定着に向 けた取り組みは喫緊の課題と捉えています。事業の 発展には従業員とその家族がいかに充実した生活 を送れるかが大切であると考え、様々な活動を実施 しています。

地域とともに

当社グループでは、事業活動は地域社会とともにあ ることを強く認識しています。地域社会から信頼さ れる企業集団を目指し、各工場が地域の住民の方々



人権方針

私たちホッカングループは、経営理念の中で、「社会から必要とされる製品を提供していく」ことを自社の使命として掲げると ともに、サステナビリティ基本方針において、環境・社会と調和する持続可能な成長を実践するために、事業活動において直接的・ 間接的に関わる様々な社会課題の解決に向けて積極的に取り組むことを表明しています。

これらの取り組みを実践していくためには、私たちの企業活動に関わるすべての人々の基本的人権が尊重されなければならな いと考え、今般、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、「ホッカンホールディングス人権方針」を制定しました。

ホッカングループでは、本方針に基づいて、ビジネスパートナーやステークホルダーと恊働しながら、人権を尊重した経営を実 践していきます。



ダイバーシティの推進

ホッカングループは、国籍、性別、年齢に関係なく、事業に貢献する人を正当に評価する フェアな企業集団であり続けることで、多様性のある人材の確保に努めます。

当社グループでは、労働者の権利を含む人権を尊重し、差 別・ハラスメントを許さず、適正な賃金と公正な人事評価・ 処遇制度を整備します。また、ワーク・ライフ・バランスに配 慮した各種勤務制度、福利厚生制度を設け、すべての役職員 が働きやすい環境を整備することで、ダイバーシティの推 進を進めてまいります。

外国人実習生の受け入れ

ベトナムから技能実習生を受け入れている一部工場で は、通訳者の常駐や日本語教育のほか、掲示に日本語とべ トナム語を併記するなどの環境整備をしています。

障がい者雇用

オーエスマシナリー株式会社では、毎年地元の北海道高 等聾学校からの就業体験を受け入れています。この活動か ら採用につながることもあり、今後も継続する予定です。

2020年度 従業員男女比率



障がい者雇用数 (人)



外国人労働者数 (人)



内部通報窓口に女性弁護士を登用

ホッカングループでは各種ハラスメントを含む法令 違反や会社規則違反行為を匿名または顕名で相談・ 通報することができる内部通報制度を設けています が、2021年7月からは社外の内部通報窓口に女性弁 護士を追加しました。これは女性が異性に対して説 明しづらい案件であっても相談・通報しやすくする ための試みです。当社グループは性別を原因とする 差別やハラスメントを撲滅し、風通しの良い職場づ くりに努めることによりダイバーシティを推進して まいります。

■ ワーク・ライフ・バランスの推進

ホッカングループは、様々なライフイベント下にある従業員が、

安心して働ける環境の整備を推進しています。

ワーク・ライフ・バランスに配慮した勤務制度

当社グループでは、女性の活躍を一層推進し、すべて の従業員が安心して働けるよう、出産・育児や介護に関 する勤務制度·有給休暇制度(P23)を導入するほか、 スーパーフレックス制度を導入しています。これは、従 業員各人が業務の繁閑に応じて主体的に始業・終業時間 を決定して勤務する制度であり、1か月ごとの清算期間 に必要な労働時間を就業するものです。

高齢化社会への対応

高齢化社会に対応するため定年を65歳に延長し、60歳 を超えた一定の従業員をエルダー職として人事処遇制度

に組み込み、責任者を補佐し、専門領域の知見を活かして 現場指導や後進育成を担わせるなど役割を明確にするこ とによって、組織の若返りと60歳を超えた従業員のモチ ベーションの両立を図っています。

また、介護は定年までにほぼ全員が直面する課題である との認識から、男女問わず従業員が事前の心構えをするこ とができるよう、「介護離職を予防するための仕事と介護 の両立準備ガイド」を作成し、仕事と介護の両立に向けた 心構えと会社の支援制度を解説するとともに、社内相談窓 □を案内しています。

主な制度

● スーパーフレックス制度

● 積立休暇制度

内科疾患による長期病欠休暇制度

● 育児&介護有給休暇制度

結婚・忌引有給休暇制度

等

従業員の声

会社の制度を活用して、

より良いワーク・ライフ・バランスを考えるように

私は3人目の子どもの出産に合わせて会社の有給休暇制度*である子女出産休暇と育 児休業を取得しました。職場の理解もあり心配はありませんでした。また共働きのため、 保育園の送迎や行事への参加、体調不良時の看護等はスーパーフレックス制度を利用し て分担しています。

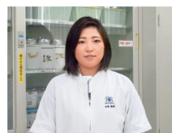
リモートワーク等も含め社内制度に対して社内の認知・理解が進み、子供といられる限 られた時間をより有意義に使えるようになれば良いと思います。

※株式会社日本キャンパックでは配偶者の出産日当日に有給休暇(子女出産休暇)を取得でき、また育児休業の取得期間が 2週間以内の場合は、申請により最初の5日間を有給とすることができます。

株式会社日本キャンパック 情報システム部 間瀬 勝実

会社の支援制度と上司・同僚のサポートで、 什事と家庭の両立を実現

私は2020年の4月から約1年の育児休暇を取得しました。育児休暇取得や育児短時間 勤務制度を利用することで、自分のやっていた業務を同僚が代わりにやらなくてはいけ なくなり負担や迷惑に思われるのではないかと心配していました。しかし、育休取得前は 「仕事のことは忘れて赤ちゃんとの時間を楽しんでね」と言ってもらえ安心し、復帰後は 理解やサポートを受け上司や同僚に感謝しています。この気持ちを忘れず、より一層仕事 を頑張ろう!という気持ちが芽生えました。



株式会社日本キャンパック 利根川工場 品質管理課 小林桃子

福利厚生

各種有給休暇制度と所得補償制度

当社グループでは、様々なライフイベントに際して も従業員が安心して働くことができるようにするため の勤務制度や福利厚生制度の充実に力を入れています。 例えば、従業員は法定の休暇制度として子の看護休 暇や介護休暇を取得することができますが、当社グ ループでは、これらの休暇は有給で取得することがで きます。

また、従業員が年次有給休暇を取得できるよう配慮 し、適正な行使を奨励するとともに、時効(2年間)によ り失効した有給休暇日数を北海製罐株式会社では最大 60日間、株式会社日本キャンパックでは90日間積み立 て、私傷病により1週間以上の休養を要することとなっ た場合には、この積み立てた日数を上限に有給休暇を 取得することができることとしています。さらに北海 製罐株式会社では、内科疾患により長期病欠を必要と する勤続5年以上の従業員に対し、1回60日間を上限と して、在籍期間中2回まで有給休暇を取得できること としています。



他にも会社ごとに結婚休暇や配偶者の出産休暇、忌 引休暇、裁判員休暇などの制度を設けており、様々なラ イフイベントに際して一定期間の有給休暇取得を保証

また、北海製罐株式会社や株式会社日本キャンパッ クは団体長期障害所得補償保険(GLTD保険)に加入し ており、病気やけがによる欠勤・休職の場合に、公的保 障のほか長期間にわたって所得の減少を補償できる体 制を整えています。

寮•补宅

当社グループにおいて、群馬県の館林地区は容器・充 填・機械製作事業の各主力工場があり、グループの発展 に欠かせない拠点となっております。そのような中で 当社は、2020年、同地区に単身者向け独身寮の増築お よびファミリー向け社宅を新築いたしました。生活に 欠かすことのできない「住環境」である独身寮・社宅を 充実させ、館林地区のグループ会社従業員とその家族 が利用できるよう横断的に展開し、運用しております。 また、全国各地から優秀な人材を確保するなど、安心し て働くことができる住環境を整えることは人材採用の 観点からも当社グループの魅力度向上の支えになると 考えております。当社グループの従業員がやりがいを



もって長く健康的に働いてもらえるように、今後も福 利厚生の充実に努めてまいります。



労働安全衛生・健康方針

私たちホッカングループは、すべてにおいて安全を最優 先します。また、事業活動の場において安全衛生・健康を確 保することはグループの重要な責任のひとつであると認 識しており、労働安全衛生および健康に関する方針を定め、 グループの全役職員に加え、派遣契約等に基づき常駐し勤 務する方、協力会社および請負業者等、並びにグループの 事業拠点において活動するその他の関係者を含め、事業活 動に関わる皆様の安全確保と健康の維持・増進に努め、「労 働災害ゼロ」「職業性疾病リスクの低減」を目指してまいり ます。

- 1.法令遵守
- 2.安全衛生管理体制
- 3. 安全衛生活動の推進
- 4.役職員等の教育
- 5.健康経営の推進



安全管理

装置産業を主とするホッカングループは、各社において安全衛生委員会等を設置し、 労働災害を未然に防ぐ取り組みをおこなっています。

当社グループでは、それぞれの会社が定期的に自らの工 場の安全巡視をおこなうほか、半期に1度、北海製罐株式会 社と株式会社日本キャンパックの安全責任者が共同してグ ループ会社の工場を巡視し、様々な視点から点検する「安全 パトロール」を実施しています。今後はオーエスマシナリー 株式会社も加わり、グループ全体で労働災害を未然に防ぐ 活動をおこなっていく予定です。

全従業員が安全衛生について改善提案する仕組みも取 り入れており、オーエスマシナリー株式会社では改善提案 をおこなった数を掲示するなど、活動の見える化も実施し

ています。

また北海製罐株式会社、株式会社日本キャンパックおよ びオーエスマシナリー株式会社では、毎年安全性をテーマ にした標語やポスターを募集し、優秀作品を工場内に掲示 することで従業員の安全に対する意識づけを図っています。

株式会社日本キャンパックでは、安全体感機を用いて作 業機械の安全な取り扱いを確認する安全体感実践教室を開 催するほか、工場内外における従業員の安全意識を高める ために「ポケテナシ」の横断幕を掲示するなど、積極的な活 動を実施しています。



安全ポスター金賞作品









「ポケテナシ」の横断幕

++

衛生管理

食の安全を提供していくために、ホッカングループでは

工場内を隅々までクリーンに保ち、最新鋭の検査装置を設置するなど、

あらゆる角度で衛生管理を徹底しています。

北海製罐株式会社岩槻工場では、ミルク缶の製造をおこなっています。繊細な乳児の食生活に大きく関わる製品で、高い安全性が求められます。同社では、1缶1缶に間違いのない品質保証を実現するため、製造、保管、配送など、すべての段階において衛生管理を徹底しています。工場内に衛生管理区域を設置し、最新鋭の検査装置と検査員の目視による検査をすべての製品で実施しています。

また、株式会社日本キャンパックでは、機器類の定期的な洗浄、微生物検査、製造工程内への持込品管理、食中毒などに関する従業員教育、原料水の放射線自主分析など、「洗浄・殺菌」「防虫・防鼠」「アレルゲン管理」「異物混入防止」「従業員教育」「放射線物質」の6つのテーマに重点をおいて取り組み、製品の安全性を追求しています。



塗工・グラビア工程 温度・加湿操作盤



ミルク缶製造ライン 内外面検査室



健康経営

ホッカングループは事業活動に関わるすべての人々の健康の維持・増進に努め、

「職業性疾病リスクの低減」を目指します。

当社グループは、労働安全衛生・健康方針を定めており、 役職員等の健康はすべての基本であることを認識し、働き がいを実感できる健全で快適な職場の維持と役職員等の心 身の健康増進活動の施策を推進しています。

さらに、ホッカンホールディングス役職員行動規範細則 では、健康や安全に悪影響を及ぼすような飲酒・喫煙等をし ないよう努めること等を含め、役職員自らが体調に気を配 るほか、他者の健康と安全にも配慮し、役職員の心身の健康 の維持増進にグループ全体で取り組むこととしています。

これを実践するため、2020年度は、人間ドックの受診率を高めることを目的として、基本受診料の自己負担率を従来の2割から1割に変更しました。また、就業者が50人未満の事業所を含むすべての事業所でストレスチェックを実施し、職場環境の早期改善に努めています。

製品安全方針

私たちホッカングループは、お客様の信頼を確保し、お客様に満足していただける製品・サービスを提供することが経営上の 重要課題であるとの認識のもと、製品安全および品質の確保に努めてまいります。

食の安全に向けた取り組み

食に関わる企業として、安全な製品を提供するための取り組みに注力

当社グループは食に関わる企業としてお客様の信頼を確保し、お客様に満足していただける製品・サービスを提供することが経営上の重要課題であるとの認識の下、製品安全



品質日本一活動の啓発のぼり



継続的な従業員教育により食の安全を守ります。

方針を制定し、品質管理体制の整備と継続的な品質改善活動の推進をおこなっています。

北海製罐株式会社では食品容器・飲料容器を製造する5 事業所、飲料を受託充填する株式会社日本キャンパックでは全事業所で、食の安全に関する国際的な食品安全マネジメントスキーム『FSSC22000』を認証取得しています。

株式会社日本キャンパックは、お客様に安心してお飲みいただける清涼飲料水を製造するため、徹底した品質保証体制を構築するとともに、お客様第一主義、品質日本一活動を実践しています。また、防虫活動や食品防御(フードディフェンス)活動等、食の安全を脅かす事象の発生防止対策に積極的に取り組むとともに、食品安全活動自体の妥当性確認や検証、是正対応を継続的に推進しています。

食の安全は従業員から

防虫講習会を実施

安全な清涼飲料水をお客様にお届けするためには衛生的な環境での飲料充填が不可欠です。小さな虫であっても充填室に迷い込めば異物混入のリスクが生じるため、株式会社日本キャンパックでは、充填室はもちろんのこと工場や敷地全体にも気を配り、虫を①侵入させない②生息させない③発生させない④知る環境づくりに向けて継続的に活動しています。



同社は品質管理体制に万全を期すとともに各工場で防虫活動にあたる従業員の意識づけと防虫知識の向上を図るため、毎年、協力会社の方々を含む全従業員を対象に防虫講習会を実施しています。2021年は3月から8月にかけて全5工場+2部署で実施し、計693名が参加しました。

講習会では外部の専門家を講師に迎え、虫の侵入メカニズムや発生条件、工場ごとに発生リスクの高い虫の解説など科学的な分析を踏まえた防虫体制・防虫対策について学習するとともに、防虫管理の本質はすべての従業員が主役となっておこなう未然防止であり、定められた工場内での基本動作を遵守し、日常的に工場を清潔に保ち、定期的な整理整頓を心掛けるなど、一人ひとりの防虫意識の向上が衛生的な環境づくりに不可欠であるとの認識を新たにしました。



地域社会との連携

事業の継続と発展を図るとともに、

地域住民とのより良い関係性構築のために、子どもの成長を応援しています。

当社グループはサステナビリティ基本方針において、 地域社会と調和し、社会の幸福に資する活動に取り組む こととしており、地域とのコミュニケーションを積極的 におこない、地域社会と調和し、地域住民をはじめ社会の 幸福に資する活動に取り組むことで、地域にあって役職 員であることに誇りを持てるグループであることを目指 しています。

株式会社日本キャンパックの工場は、清涼飲料水の一大 消費地である東京に近く、水資源も豊富な群馬地区にあり ます。同社は、この場所で事業を継続・発展させていくため には、地域との連携が不可欠と考え、2017年度に「20年幸 せ応援計画」を策定しました。これは、地域(群馬県邑楽郡明 和町)の子どもが生まれてから成人するまでの成長を様々な形で支援していくものです。

2020年度においては、同社が命名権を持つ日本キャンパックホールで開催されるコンサート企画や地域で実施される文化事業への協賛のほか、地域の小学校に冷水器を、図書館に図書を寄贈し、また地域の小学生に対してはネッククーラーや上毛かるたを、成人を迎える方々には記念品を贈呈するなど、世代ごとに多様な支援を実施しています。

これらの取り組みによって、次世代を担う子どもたちに 同社を身近に感じてもらい、若手の人材確保につなげるだ けでなく、地域の方々に末永く愛される地元企業であり続 けることを目指してまいります。

(株)日本キャンパックの2021年度版[20年幸せ応援計画]の概要

誕生	幼児期	小学生	中学生	高校生	成人後
文化		日本キャンパックオ	トール図書館への図書寄贈		
支援					
		上毛かるた贈呈(1年生)		成 <i>)</i> お礼	
		上毛かるた	t 大会支援		
環境 支援	明和こども園送迎バス用 マグネットシート塗り絵 イベント				
		明和町こども会地域清掃支援			
		学校			
運動 支援		ドッチビー大会支援			
又扳			塗り絵フェスティバル支援		

主な地域連携活動



[安全教育の実施]

2021年5月から8月にかけて、群馬県立前橋工業高等学校と栃木県立足利工業高等学校において、高校生計200名を対象に安全体感機を用いた安全教育を実施しました。ものづくりにおける安全の重要性を言葉と体感の両面から伝えることで、安全意識を高めてもらうことを目的としています。



[図書の寄贈

2021年8月、地元の小中学生が多くの本に触れられるよう、日本キャンパックホール内の図書館に図鑑、伝記や絵本など図書163冊を寄贈しました。子どもたちが文化や科学に親しみゆたかな心を育む機会を提供し、応援することにより地域に貢献してまいります。



[冷水機・ネッククーラーの寄贈]

2019年度から2020年度にかけて明 和町の小学校に冷水機を、明和町の小 学校に通う全児童にネッククーラーを 寄贈し、また2021年6月には新1年生 にもネッククーラーを配布しました。 今後も継続的に実施していく予定です。



「成人式での記念品贈呈

2017年度から開始した取り組み。「20年幸せ応援計画」における成人までの一つの区切りとして明和町の成人式で同社の社員から、新成人一人ひとりに記念品を手渡しで贈呈しました。

企業価値向上を目指して

当社グループは、経営の透明性を高め、コーポレート・ガバナンスの充実を図ることを重要施策としています。グループ横断的なコンプライアンス(法令遵守)およびリスクマネジメントの体制を構築し、役職員一人ひとりが「役職員行動規範」に基づき責任ある行動に努めています。



Governance

 コーポレート・ガバナンス
 29

 コンプライアンス活動の状況
 31

 リスクマネジメントの状況
 32

 取締役・監査役一覧
 33



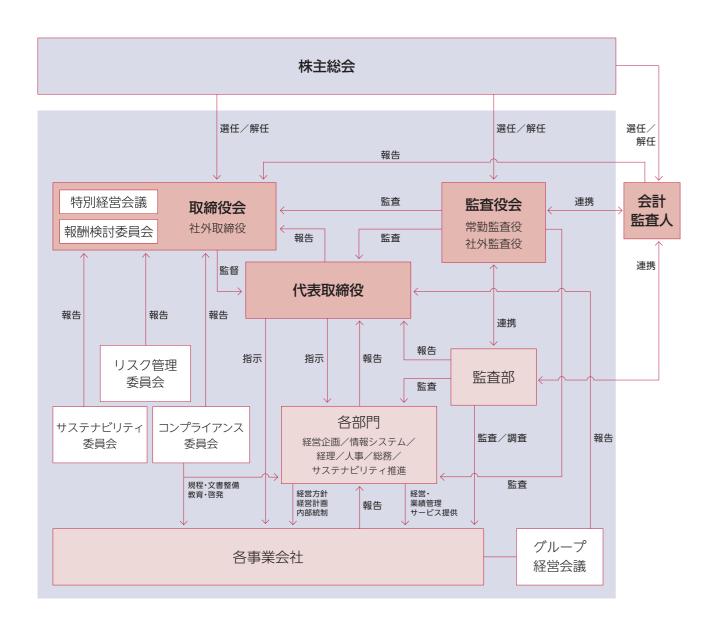
コーポレート・ガバナンス



コーポレート・ガバナンス体制

当社グループは、持株会社体制の下で意思決定の迅速化と権限委譲を図るとともに、法令遵守、公正性、倫理性を重視し、経営の透明性を高め、コーポレート・ガバナンスの充実を図ることを重要施策としており、取締役会、監査役会を

中心とした経営管理体制を構築しています。当社の役員は 社外役員3名を含む取締役9名(うち女性2名)と、社外監 育役2名を含む監査役4名で構成されています。



取締役会

取締役会は原則として毎月1回開催し、重要事項を決定するとともに業務執行状況を監督しています。また、内部統制システムの構築およびその運用状況の確認、コンプライアンス委員会、リスク管理委員会およびサステナビリティ委員会からの報告の受領等、グループのリスク管理についての監督をおこなっています。なお、2020年度において取締役会は14回開催しています。

監査役会

監査役会は定期的に開催し、監査の方針、監査役の職務分担等を定め、各監査役から監査の実施状況および結果について報告を受けるほか、取締役等や会計監査人から職務の執行状況について報告を受け、説明を求めるなどの方法により、取締役の業務執行の厳正な監査を実施しています。なお、2020年度において監査役会は11回開催しています。

取締役会の実効性評価

当社は毎年、第三者機関を活用して、すべての取締役と 監査役を対象に取締役会全体の実効性に関するアンケート を実施し、その分析結果に基づき対応すべき課題と実施施 策を取締役会で議論し、公表しています。2020年度にお いては、2021年3月30日開催の取締役会において実効性 評価を実施し、その結果の概要およびこれに基づく実施施 策を当社ウェブサイトにおいて公表しています。

https://www.hokkanholdings.co.jp/ir/ governance/evaluation.pdf



取締役・監査役の指名/報酬

取締役・監査役の指名

当社は現時点において任意の指名委員会を設置していませんが、経営の透明性を高め、コーポレート・ガバナンスを充実するとともに、意思決定の迅速化と権限の委譲を図るため「役員の選解任に関する方針」を定めています。本方針においては、取締役および監査役候補者の選定にあたっては、本基準および取締役会の定める行動規範に基づき、取締役社長が人事案を作成し、作成された人事案は、各社外取締役に提出しその意見を求め、監査役候補者については監査役会の同意を得た上で、取締役会において決定することとされています。

https://www.hokkanholdings.co.jp/ir/governance/appointment.pdf

取締役および監査役の報酬の決定

当社取締役会は、役員報酬が企業価値の最大化に向けた 健全なインセンティブとして機能するよう、「役員報酬の 決定に関する方針」を定めています。

取締役の報酬は基本報酬と株式報酬により構成されており、社外取締役は、基本報酬のみの支給となります。

当社は、当社から独立した社外取締役が過半数を占める報酬検討委員会を設け、各取締役の経歴、見識、実績等を踏まえて取締役個人別の報酬額の原案を作成し、取締役会は、原案に基づき、具体的な額の審議を経て取締役個人別の基本報酬額を決定しています。

取締役の株式報酬は、取締役会の定める「株式交付規程」に基づき役位に応じたポイント数(基本報酬額の5%から10%程度を基準として決定されています)を付与し、原則として取締役の退任時に、保有するポイント数に相当する当社株式を当社が設定する信託を通じて交

付するものです。

監査役の報酬は、株主総会の決議の定める総額の範囲内 において、監査役の協議により決定しています。

https://www.hokkanholdings.co.jp/ir/governance/compensation.pdf



■ コンプライアンス体制

当社グループでは、経営理念、ビジョン、サステナビリティ基本方針を定め、役員・従業員が共有すべき倫理観、遵守すべき倫理規範等であるホッカンホールディングス役職員行動規範および同細則を制定し、人権の尊重、環境への配慮、腐敗防止や反社会的勢力の排除など、当社グループ全体の業務の適正を確保しています。

また、原則として年4回コンプライアンス委員会を開催して、当社グループ全体のコンプライアンス活動の状況報告を受け、業務の適正確保に向けた情報共有や規則・ガイドラインの策定、教育・研修等をおこなっています。なお、委員会の活動内容は、都度取締役会に報告されています。

業務運営に関する違法、不正または不当な行為の早期発見および是正を図るため「内部通報制度」を活用しており、通報・相談があった事案については速やかに調査の上、社内規程に則り適切に対応しています。



リスク管理体制

社長を委員長とし、原則として年2回開催するリスク管理委員会を中心としてグループ全体のリスク管理を統括するとともに、定期的にリスクの識別等を実施し、抽出された個々のリスクについての対応を継続的に実施することによりリスクの極小化に努めています。不測の事態が発生した場合には、社長を本部長とする危機管理対策本部を設置し迅速な対応をおこない、損害の拡大を防止し、これを最小限に止める体制を整えることとしています。



IR活動

株主、投資家の皆様との建設的な対話を促進し、会社の 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、 「情報の開示およびIRに関する方針」を定め、これに基づ いて適切な情報の開示およびIR活動を実施しています。

https://www.hokkanholdings.co.jp/ir/disclosure_policy/

コンプライアンス活動の状況



役職員行動規範等の改定

2021年10月23日に創立100周年を迎える当社は、次の 100年を始めるにあたり、新たな経営理念、ビジョン、サ ステナビリティ基本方針および全社戦略を定めました。ま た合わせて個々の社会課題に関する方針として人権方針、 環境方針、製品安全方針、労働安全衛生・健康方針および サステナビリティ調達方針を策定しました。当社グループ はこれらに基づき、法令遵守はもちろんのこと、人権の尊 重、環境への配慮、腐敗防止や反社会的勢力の排除など、 当社グループ全体の業務の適正を確保してまいります。

また、新たな経営理念等の制定に合わせ、ホッカンホー ルディングス役職員行動規範および同細則を改定しました。 その概要は以下のとおりです。なお、細則については以下 のURLにてご覧いただけます。

https://www.hokkanholdings.co.jp/company/compliance/

[基本理念]

ホッカングループの役職員は、開拓者精神をもって成長 のために飽くなき挑戦をし続けるとともに、各事業分野にお いて成長を続け、中長期的な企業価値の向上を図るためには、 その活動が環境・社会と調和する持続可能なものでなけれ ばならないことを深く認識し、業務遂行にあたっては諸法規 および各社内諸規程を遵守するとともに、ビジネスマナーを 守り、社会規範に沿った責任ある行動をとる。

(遵守事項)

- (1) 人権を尊重し、差別・ハラスメントを行わない。
- (2) 環境に関する条約・法令等を遵守し、地球環境 に配慮した活動を行う。
- (3) 取引遂行にあたっては、法令等を遵守し、公正 を旨とする。
- (4) グループ会社の情報を適切に管理することはも ちろん、社外から得た情報や第三者の知的財産 権等の権利についても適切に取り扱う。
- (5) 株式等の不公正取引 (インサイダー取引) は行 わない。
- (6) グループ会社の利益に反する行為は行わない。 また、公私のけじめをつける。
- (7) 贈答・接待等は法令に違反することなく、かつ 社会通念上妥当な範囲で行う。
- (8) 反社会的勢力には毅然として対応し、利益供与 は一切行わない。
- (9) 製品の品質、安全に責任感を持って業務を遂行 する。
- (10) 自らの健康と安全に留意し、また他者の健康と 安全を損なわないように配慮する。
- (11) 不適切な行為や状況を放置せず、一人ひとりが 行動する。

腐敗防止に向けた取り組み

社会において取引の公正さを確保することがますます重 視されるようになっていることを踏まえ、当社グループで はサステナビリティ基本方針において法令を遵守し、公正 取引・腐敗防止に取り組む旨を明らかにし、カルテル・談 合等の競争制限は断固として拒絶し、贈収賄その他あらゆ る種類の汚職・腐敗に関与しないことを宣言しています。 具体的には、独占禁止法違反行為の排除を徹底するために、 営業職における行動指針を定めて周知しており、北海製罐 株式会社では独占禁止法遵守規程を制定し、競合他社との 接触の原則禁止とやむを得ず接触する際の手続を定めてい ます。また贈収賄防止規則を制定し、取引契約時には贈賄 禁止等の法令遵守条項を設けるよう努めるとともに、報酬 等支払時の贈賄行為に関する支出がないことの確認や、接 待進物等の実施時の相手方の公務員の身分の有無・適用さ れる倫理規定の事前確認等、適切な管理を図っています。



コンプライアンス徹底に 向けた取り組み

コンプライアンスの徹底のためには、会社の体制を整え るのみならず、役職員一人ひとりがコンプライアンスに対 する認識と十分な知識を持たなければなりません。当社グ ループでは、経営理念等の基本方針やホッカンホールディ ングス役職員行動規範等を各事業所に掲示し、またこれら の方針等をまとめた冊子やコンプライアンス・ハンドブッ クを役職員に配布するとともに、年に1回の全役職員を対 象とするコンプライアンス研修や、管理職を対象とするハ ラスメント防止研修など、階層別の研修を実施することで、 当社グループにおける行動指針の遵守および法令違反等の 予防に努めています。

また、内部通報制度の実効性を高めるため、外部の通報 窓口に女性弁護士を加えるとともに、国内グループ会社で は通報窓口が記載されたホットライン案内カードを配付し、 従業員が常時携帯できるようにしています。





ハンドブック

「コンプライアンス・「ホットライン案内カード」

リスクマネジメントの状況



リスクマネジメントの取り組み

当社グループは、平常時における全社リスクマネジメン ト方法をまとめたリスク管理規程を制定するほか、当社お よびグループ会社の事業活動に甚大な影響を及ぼす事故・ 災害・不祥事等に関わる危機その他の緊急事態が発生した 場合に、人命・地域の安全の確保、社会、顧客からの信頼 維持および被害・損失の極小化を図るための適切な対応を 取れるよう、事業継続計画 (BCP) を含む危機管理マニュ アルを作成しています。

また、役職員のリスク管理能力を高めるために危機対応 の事例研究や教育・研修の実施、リスクに対する意識向上 のための日々の啓発に努めています。具体的には各事業所 において防災訓練等を実施するほか、2020年度において は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、自動 体外式除細動器 (AED) の使用方法を含む社内救命講習 を実施しました。



社内救命講習は間隔を空け、少人数での実施



感染防止に配慮しながら人工呼吸やAEDの操作方法を実践

自然災害および感染症対策

当社グループは、地震、台風等の自然災害およびウイル ス等の感染症の流行による操業停止をせざるを得ないよう な事態の発生に備え、リスク分散を実施し従業員の安全確 保、災害および感染の未然防止等を実施しています。

2020年年初に顕在化した新型コロナウイルス感染症は 全世界に感染拡大しており、当社グループ各社においては 感染症に関わる事業継続計画 (BCP) を参照し、適宜見直 しながら、事業を営む各国の規制に従い、役職員の安全確 保を第一として操業を継続しています。

日本国内においては、事業所における消毒用アルコール や検温器、パーテーションの設置や食堂における黙食の励 行などを含む衛生管理の徹底や、サテライトオフィスの設 置、時差出勤や自宅勤務を含む柔軟な勤務等を実施してい ます。また、ワクチン接種時およびワクチン接種に伴い副 反応が起こった場合に行使できる特別有給休暇(時間)制 度を設け、外部医療機関の協力の下、事業所の所在する各 地域において職域接種を実施するなど、希望する役職員へ の新型コロナウイルスワクチンの接種を推進しています。



海外リスク管理

当社グループは、東南アジアにおいて事業展開をおこ なっており、海外事業所の事業継続と海外勤務者および その家族や海外出張者の安全を確保するために危機管理 マニュアルに加えて海外危機管理マニュアルを制定し、 必要に応じて当社と連携してリスクに対応することとし ています。

リスク管理委員会には各海外グループ会社のリスク管理 責任者も委員として参加しており、当社グループのリスク 管理方針、対応施策等を共有しています。

コンプライアンスリスクに関しては、経営理念、ビジョ ン、サステナビリティ基本方針その他各種方針を英訳して 周知するほか、コンプライアンス・ハンドブックを日本語 のみならず英語、インドネシア語、ベトナム語でも作成し、 配付しています。



取締役·監査役一覧

取締役



工藤 常史 取締役会長(代表取締役)

くどう つねのぶ

こうすけ

池田 孝資

取締役社長(代表取締役) 北海製罐株式会社 代表取締役社長 株式会社日本キャンパック 代表取締役社長



佐藤 泰祐 取締役常務執行役員

さとう やすひろ

オーエスマシナリー株式会社 代表取締役社長



ひで あき 多田 秀明

取締役常務執行役員



武田 卓也

取締役執行役員 総務部·人事部担当



砂廣 俊明

経理部·経営企画部担当





藤田 晶子

取締役(社外) 独立役員 明治学院大学 経済学部 国際経営学科教授



耕田 一英

取締役(社外) 独立役員 **公認会計士**



渡邉 敦子

取締役(社外) 独立役員 弁護十 渡邉綜合法律事務所所長

監査役



竹田 由里

常勤監査役 北海製罐株式会社監査役 株式会社日本キャンパック



わたなべ もとき 渡辺 基樹

北海製罐株式会社 監査役



ナース ひるき 田代 宏樹

監査役(社外) 独立役員 弁護士 田代法律事務所所長



鈴木 徹也

監査役(社外) 独立役員 鈴木税理士事務所所長

社外取締役に訊く

当社のガバナンス、そしてサステナビリティ経営について伺いました。

取締役会の審議で重視していること/していきたいこと

独立した立場から経営を監督することが社外取締役の基本的な役割であります が、同時に企業グループ全体の持続的成長と価値向上にむけた経営陣の中長期的 な戦略とその意思決定プロセスの評価も重要と考えます。また、財務会計・開示 の研究者として、情報開示のあり方や透明性の担保にも注目したいと思います。

サステナビリティ経営について期待すること

環境や社会における課題解決に対する取り組みを通じて、将来リスクの軽減 よりもむしろ企業価値向上につながる攻めのサステナビリティ経営を期待しま す。とりわけ、地球環境に負荷をかけない最先端の次世代型の容器・充填技術 を開発し、その分野のトップ企業としての責任を果たしていただきたいと思い ます。



社外取締役

藤田晶子

明治学院大学 経済学部 国際経営学科教授 2020年6月就任



社外取締役 耕田一英

公認会計士 2021年7月就任

取締役会の審議で重視している/していきたいこと

審議事項が不正や不祥事につながる可能性を持つかどうかついて、まず重視 しています。次に、情報および検討が十分かどうか、意思決定に社内の常識に よる偏りがないかどうかの2点について、会計に関する専門的知見および他社 での企業常識を基に、必要に応じて説明を求めることを重視しています。

サステナビリティ経営について期待すること

激変する環境を踏まえ、地球や社会の持続可能性を保持するため、長期的に、 具体的には数代後の社長の時代において、当社がどんな事業をおこなって会社 として存続しているのか、ストーリーを描いていただきたい。その際、利益を 出すこと、社長がストーリーを株主・投資家に明確に語ることを特に期待して います。

取締役会の審議で重視している/していきたいこと

社外取締役は独立した客観的視点で経営を監督することが求められているた め、業務執行から離れた者の外部の視点や考え方をお示しすることが重要であ ると考えています。また、弁護士としての知識・経験を活かし、経営上の法的リ スクについても積極的にご意見を申し上げたいと考えております。

サステナビリティ経営について期待すること

新設のサステナビリティ委員会の活動に期待いたします。当社の経営戦略や 経営課題を踏まえた、役職員の安全健康や働きがい、海外子会社や取引先労働 者の人権尊重について具体的な取り組みに期待いたします。また、環境問題へ の取り組みを通じて新たな企業価値を生み出していただくことに期待を持って おります。



社外取締役 渡邉敦子

弁護士 渡邉綜合法律事務所所長 2021年6月就任



「SUSTAINABILITY REPORT 2021」に関するお問い合わせ先

ホッカンホールディングス株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号 TEL 03-3213-5111(代表) FAX 03-3213-5366 https://www.hokkanholdings.co.jp



